

新春のごあいさつ



飯館村長
菅野 典雄



飯館村議会議長
佐藤 長平

新春のごあいさつ

新年、明けましておめでとうございます。

村民の皆さまにはどのような新年を迎えたでしょうか。全家庭が健やかな新年を迎えていただきたいものと心より念じているところです。

昨年も村民の皆さまのご協力と議会の方々のご理解によつて村も大きく前進した一年であったと思っております。念願の「いいたてクリニック」の開所をはじめ「農業後継者定着促進事業」など各種の農業支援対策、中学生までの医療費無料化とともに子どもたちへの教育予算の拡大など村民に密接に関わる事業に重点を置いて進めたところであります。

一方で、光ファイバー敷設とともに地上デジタルテレビ対策、これから暮らし方を考える「までいな家」の建設、「日本で最も美しい村」連合への加盟など、村の将来に向けての施策も着実に手を打たせていただきました。

今年は、「までいライフ」10年計画の7年目になります。私は村民の皆さんとともに次のようないまでいライフ」を進めたいと強く思っています。

村民の皆さまには、日頃より村議会に対しまして格別のご支援とご協力を賜り心から感謝を申し上げます。

本年も、決意を新たに12名の議員による「チーム議会」として村政振興の課題に取り組んで参りたいと思いますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年を振り返りますと、様々な緊急経済対策が成されたのもかかわらず経済不況の回復が遅々として進まない状況でありました。

特に、村の基幹産業である農業について、春からの天候不順と猛暑による花卉や園芸作物等への大きな影響から販売額の大幅な減少があつたこと、水稻が豊作になつたものの品質の低下や戸別所得補償制度の中で著しい米価の下落となつたことなどへの対応に追われた一年となりました。昨年、議会は「村民懇談会」を開催いたしました。

「村民懇談会」は、議会として初めての試みで村民の皆さまに議会の情報を公開すること、そして皆さまのご意見を伺うことを目的にしております。

具体的には、議会議員12名が3つのチームに分かれ、チームごとに各行政区に出向き、議会の情報を議員が直接皆さまにお伝えし、また、村民の皆さまから村への思いを直接伺うことで「村民の声が聞こえる議会」「顔が見える議会」にしていこうと4月から10月まで活動を行いました。

この懇談会では、議会として責任を持つる案件についてはその場でお答えしましたが、即答できない村政課題につきましては、課題を持ち帰り、村執行部と協議のうえ各行政区へ答弁書を送付させていただきました。

今後の議会改革につきましては、村民懇談会を継続するとともに業界団体との懇談会も開催することにしております。

さらに、分権時代に対応する議会改革として、通年議会（一年中議会を開催できる制度）の開催や議員同士の自由討議の場を設定することなど、議会としてできるところから改革を進め、ゆくゆくは「議会基本条例」を制定するなどを検討したいと考えております。

懇談会等を通じて皆さまの声を村政に反映させるとともに、議会自らが政策の提案や立案できる体制をつくるよう努力を重ねて参ります。

今年一年、村民の皆さまにさらなる幸せが訪れ、健やかな年になりますようご祈願をいたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

新年、明けましておめでとうございます。

村民の皆さまにはどのようないまでいの「心を込めて」「手間暇惜しまず」は人と人との関係や心のありようでしょう。いわゆる日本中に蔓延している「自分さえ良ければ病」をもう一度互いに心を通わせ、気づかいあい「お互い様」の社会を村中に広げていくことではないかと考えています。以上のようなことが私の願う「までいな村」であります。

その「までい」の普及と併せて、将来に向かた事業にも取りかかっていかなければなりません。

今年は、公民館の建て替えに着手をし、草野小学校の大規模改修を実施し、子育て支援センター（旧飯桶診療所）の活用を進めて行く予定です。小中学生の学力向上などに保護者の協力も必要不可欠です。小さな村をどうして活気付け村民の暮らしを守つて行くか、大変難しいことではあります。が、逆にそれ故やりようもあり、やりがいもあるということです。

健全財政に意を用いながら、さらに「飯館ならではの村づくり」にまい進する覚悟です。今年も一層のご支援や力添えをお願いするものです。

今年一年、皆さまのご家庭にさらなる幸せが訪れ健康で健やかな年になりますよう心よりお祈りをいたします。年のごあいさつとさせていただきます。